

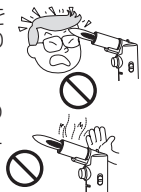
ShinFuji Burner RZ-512CR

下記警告サインの意味をご理解の上取扱説明をお読みください。

警告

■使用上の注意

- 点火時および使用中は、火口を人体に向けたりのぞきこんだりしないでください。
- 使用中および使用直後は火口、火口付近が熱くなっていますので可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。

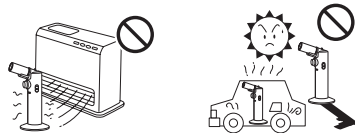


■充電時の注意

- 充電する燃料は経済的なカセットガスの他ライター用ガスが使用可能です。
※気温が低い時はライター用ガスが有効です。
- 必ず火気のない所で行ってください。
- 充電時及び充電後にガス漏れのないことを確認してください。
- 点火中は絶対充電をしないでください。
- ガスがタンク内に残っていると充電できないことがあります。タンク内のガスを使いきってから充電してください。

■保管時の注意

- 本体をストーブ、ファンヒーターの前など熱気があたる場所に放置しないでください。熱でタンク内の圧力が上がり爆発する危険があります。
- 本体に強い衝撃を与えないでください。
- 本体を保管する際は、室内や窓際など直射日光のあたる場所や自動車内など高温になる場所を避けてください。また気温40℃以上になる場所に放置しないでください。タンク内の圧力が上がり爆発する危険があります。



- 火口にゴミ等が付かないように注意してください。ノズル詰まりの原因になります。
- アルコールなどの薬品の付着に注意してください。本体樹脂が破損するおそれがあります。
- 勝手に分解や改造をしたり、当社の純正品以外の部品または付属品を付けて使用しないでください。当社はそのような場合に発生した事故または品質保証等の責任は一切負いません。
火口内の電極を変形させないでください。

- ⚠ **警告** 指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。
- ⚠ **注意** 指示に従わない場合は軽傷、または他の財物の損傷を引き起こすこととなります。

Ⓞ マークは禁止を表します。

注意

■ガス事故防止

- 万一、ガス漏れがあった時はすぐに消火し、空気を入れかえてください。ボタンガスは比重が重く下部にたまりやす。完全に換気できるまでは火気は絶対に使用しないでください。
- 万一、異常燃焼を起こした場合や緊急の場合は、点火ボタンを離すか、ホールドつまみを下側(ホールド解除)にし消火してください。それでも消火しない場合は消火器などで消火してください。

■取扱上の注意

- 燃焼中は火口、火口カバー、空気調整レバーは熱くなりますので絶対触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- 3分以上の連続使用はしないでください。やけど、器具の破損の原因となります。
- 3分以下でも断続的な連続使用はしないでください。
- 使用中はその場所から絶対離れないでください。
- 燃えやすい物や熱に弱い物からは十分離れた場所で使用してください。
- 風の強い場所では使用しないでください。
- 火災は思いもかけぬことから発生することがありますので使用の際は火の元に十分注意してください。
- お子様の手が届かない所に保管してください。
- お子様には使用させないようにしてください。



下向きにしての使用について

800℃の低温の炎で使用の際、右図のように火口を下向きにすると本体が加熱され、やけど、本体の破損の原因になりますので注意してください。



注意

本体上部の2本の切り欠け部は、空気孔になっています。(右図)燃焼時、指等でふさぐと異常燃焼をおこすおそれがあります。燃焼時は空気孔をふさがないように注意してください。



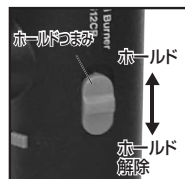
使用方法

■各部の名称



ホールドつまみについて

ホールドつまみは保管時に誤って点火させないための安全装置と、点火時に点火ボタンを離しても点火状態を保持するための機能を兼ねています。



※消火後ホールドつまみを必ず上側(ホールド)の位置にして保管してください。

■ガスの充電

- 充電する燃料は経済的なカセットガスの他ライター用ガスが使用可能です。
※気温が低い時はライター用ガスが有効です。
- 1. スタビライザーを本体から取りはずします。
- 2. ガス充電口に容器(ボンベ)のステム(先端部)をまっすぐに差し込みガスを充電します。
- 3. 充電口よりガスが吹き出してきたら充電を終了します。
- 4. スタビライザーを本体に取り付けます。
※ガス充電後は火気のない風通しの良い所で行ってください。

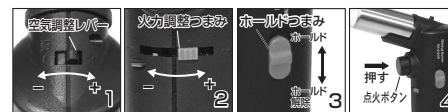


注意 ガスの過充電禁止

ガスの充電時、過充電(充電口よりガスが吹き出しても、充電作業を繰り返して行なう事)は、しないでください。燃焼時は空気孔をふさがないように注意してください。生火(赤い大きな炎が立ち上がる事)が発生したり、異常燃焼をするおそれがあり危険です。

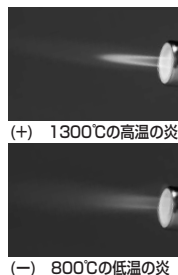
■点火

1. 空気調整レバーを(+)の方向いっぱい位置にします。
※(-)の位置では点火できません。
2. 火力調整つまみは中央より(+)の方向の位置にします。
※(-)の位置では点火できません。
3. ホールドつまみを下側(ホールド解除)にします。
※ホールドつまみが上側(ホールド)にあると点火できません。
4. 点火ボタンを押し、点火します。
5. 点火後、ホールドつまみを上側(ホールド)にすると点火ボタンを離しても点火状態が保持されます。



■ 空気の調整

空気調整レバーを(+)の方向にすると1300℃の高温の炎になります。(-)の位置にすると800℃の低温の炎になります。



■火力調整

点火後、火力調整レバーで調整します。(+)の方向が強く(-)の方向が弱くなります。(-)の方向へいっぱいになると消火してしまいます。

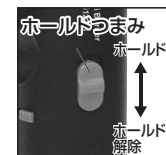


■消火

1. 炎がホールド状態ではない場合、点火ボタンを離すと消火します。
2. 炎がホールド状態の場合、ホールドつまみを下側(ホールド解除)にすると消火します。



点火ボタンを離す



ホールドつまみを下側にする

※消火後はホールドつまみを必ず上側(ホールド)の位置にして保管してください。